

# 高原水車

## 高原水車友の会通信（第4号）

新しい年を迎える、友の会は2年目に入ります。これまで100名近い方に入会いただき、毎月末の水車場公開日には煙や竹藪の整備、製麺機のクリーニングなどに取り組み、見学者も迎えて賑わっています。4月11日（土）には一周年を迎え、「高原水車友の会総会」を開きます。

### ◆友の会活動報告

#### 水車見学バス旅行—「徳島土成の水車」

（道の駅「どなり」）

**晩秋の11月29日（土）**、初めてのバス旅行に出かけました。行き先は阿波市土成町「道の駅」に復元された水車です。一行15人は「東交トラベル」さんのマイクロバスで、一路徳島へ向かいました。薄曇りだった

空もだんだん晴れて、讃岐路の最後の紅葉に期待がふくらみ、にわか添乗員の堀家みどりの説明を聞きながら1時間ほどで山あいの水車のある道の駅に着きました。物産館も隣にあります。

さっそく「水車粉屋」（すいしやこや）と看板の掛かった比較的新しい建物に入りました。大きな漏斗や行灯篩（あんどんぶるい）が目に入ってきます。水輪は小屋の外にあります。山から引いてきた水が上から流れ落ちて水輪を回し、その力が小屋の中の万力や歯車・石臼に伝わります。この水車復元に携わった鈴田様、片山様のお二人から、復元に至つたいきさつや苦労話をお聞きしました。水車は平成9年に旧土成町に復元新造され、その後徳島で行われた国民文化祭にも修復して再稼働さ

高原水車友の会  
高松市六条町  
高原水車場



題字 森佐知子  
カット平田真咲



会員一行は歯車や石臼、ガンドに粉が送られるバケット式コンベアなど熱心に見て回りました。ただ残念なことに、復元後数年間は粉を碾き盛んにうどん作り等をおこない、昔の歴史や文化に触れる活動をしていましたが、今はガンドの絹布も破れ、ネズミにもねらわれ稼働していません。「今は展示物です」という鈴田さん達の残念そうな言葉が耳に残りました。水車に一番近い大きな歯車だけが、「キィー、キィー」と音を立てて回っていました。またいつか稼働するはずです。



復元に携わった方のお話しを聞く。  
後ろに大きな箱形のガンド（篩）と漏斗が見える。

せたそうです。今はALM（あさんライブミニュージアム・広域青空博物館）のシンボルとなっています。かつてこの辺にも8軒の水車があり、村内ばかりでなく遠方からも小麦が持ち込まれていたそうです。



熱心にお話しを聞く会員のみなさん



石臼と歯車 薫ほうきが碾かれた小麦粉を掃いて集める



「水車粉屋」見学のあとは、隣の物産館で、名物の「たらいうどん」をいただく。隣のアート展示場を結ぶ回廊は大きなたらいの形をしていた。窓からは水車や山際に作られた炭焼き小屋が見える趣向。



(塩江の紅葉と渓流)



(行基の湯)

そこで会員の山田孝士さんが、塩江温泉の歴史や物産についてたいへんおもしろく話をされ、その名調子に感心しながら塩江に到着。なんと山田さんは「塩江観光マイスター」だったのです。おかげで写真展を見たり、ソフトクリームを食べたり、思わずお土産をたくさん買いました。もちろん、足湯（「行基の湯」）にも浸かりました。そして夕方無事に六条町の高原水車へ到着。

(平田記)

そして旅の後半へ。四国八十八ヶ所結願所「大窪寺」へお参り。古風で静かなお堂と門前のお店のにぎやかさが対照的でした。再びバスに乗り、四国の山中の紅葉眺めながら、車中でも水車のお勉強でした。以前有線放送で紹介された大熊正寛さんの「高原水車の話」と「高原忠雄へのインタビュー」を聞きながら、一路塩江温泉へ。



## ■水車復元に向けて

【12月19日、水車の計測調査をする  
大工棟梁野瀬秀拓さん。】

水車の上下左右を詳しく計り、ベニヤ板を広げて墨で図面を  
引く野瀬棟梁 2014年12月9日



## ■ふたたび水路掃除＆周辺整備

2014年10月25日。9月に続いて暗渠に丸太を泳がし  
浚渫作業にがんばる会員たち



散乱していた古い丸瓦や桟瓦を一箇所に集める。



2014年10月20日。水車場周辺に生い茂った竹藪を整備。昔、石垣か水門に使われていた大きな石も移動。電柱の廃材まで出てきた。



2014年11月12日、11月28日。藪の整備が続く。

2014年11月4日。今日も石を動かす。  
ここに農機具を置く予定。



4月12(土)	高原水車友の会発会式
4月13(日)	四箇池・三郎池見学
4月23(水)	仏生山水車痕跡見学
4月23(水)	友の会通信創刊
5月3(土)	観音寺五郷の里水車見学
5月5(月)	第1回「水車講座」開催
5月31(土)	出石一雄先生「自然から見た高原水車立地の特性について」
6月1(日) 2(月)	旧古川水路浚渫
8月2(土)	池森教授・野瀬氏水車調査
8月3(日)	親子体験学習「讃岐の水車小屋を訪ねる」瀬戸内海歴史民俗資料館と共催
9月27(土)	水車下流暗渠浚渫
10月8(水)	竹藪伐採
10月20(月)	周辺整備。竹藪伐採
10月25(土)	暗渠浚渫
11月12(水)	竹藪整備
11月29(土)	徳島土成水車見学バス旅行
12月10(水)	周辺整備 「芋煮会」
12月19(金)	野瀬氏水車計測調査
1月31(土)	製麵機のクリーニング
2月28(土)	製麵機の設置 うどん作り
3月15(日)	池森教授・野瀬氏水車調査

### 平成26年度活動日誌（抄）



## ■製麺機のクリーニング

2015年1月31日

おそらく80年以上油にまみれながら動いてきた製麺機を、クリーニングしてオーバーホールする日がやつてきた。ローラーを載せる木製の土台はすでに新しいレプリカが完成している。

リーダーの植本多寿美氏が少しづつ鉄のローラーやギヤーを外す。なんだか作業スタイルが決まっている。防寒用帽子は手作り。



ローラー・ギヤー・カッター・ネジ・枠・鉄輪など。 全て分解。



息の合った佐藤・植本・高見の三氏



専用の鏽び・油汚れ落としのオイルを使い、ワイヤーブラシでせっせとクリーニングする。機械や電気のプロが揃っているので、他の会員も安心して楽しい作業の仲間入りができた。



この日、庭では  
ユンボも登場



組み立てが始まった。この作業は翌月2月28日へと続き、設置ポイントも慎重に位置決めし、いよいようどん作りとなった。機械も軽く回り、うどん作りも大成功！！感動 美味しいうどんが出来上がり！懸命に製麺機の復活に努力した植本さんはじめ作業チームの笑顔がまぶしい！



2015年2月28日 製麺機復活とうどん完成を記念して



「うどんが出来ました！！」

高原水車友の会 連絡先  
0877(33)4601 堀家

\*閉会後、高原水車場にて水車見学をしました。作業チームでオーバーホールし復活した製麺機でうどん作りにトライ。

後記..この1年間、毎月末土曜日に企画委員会作業チームが集まり、楽しくユニークな活動をして来ました。「水車講座」「水車見学バス旅行」も思い出に残ります。来年度は水車復活に向けてさらに充実した年になりそうです。(恵)

## 第2回総会のご案内

1. 日時 平成27年4月11日（土）  
午後1時～4時

2. 場所 香川県農協林支店二階広間  
(高松市林町351-4)  
バス停「サンメッセ東」

3. 総会議事

- 4. 平成26年度活動報告・会計報告
- 平成27年度活動計画・予算計画（案）
- 講演「さぬきの夢2000開発のお話」  
多田伸司氏（香川県農業試験場）
- 吉原良一氏（吉原食糧社長）

福武財團 潤戸内海文化研究 活動助成をうけて活動しております